

手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

8

MONTHLY LETTER No.13

2004. 8. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
大阪(関西)国際大会開催される	2
ガバナー補佐一年を省みて	6
委員会委員長挨拶	11
地区家庭奉仕委員会報告	21
地区子ども奉仕委員会報告	23
(財)ロータリー米山記念奨学会寄付金明細	24
親睦活動委員会ニュース/新入会員のご紹介	25
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	26
5月会員数・出席率	28
6月会員数・出席率	29

2003～2004年度

ガバナー月信最終号をお送りします

当刊第13号をもちまして、2003～2004年度ガバナー月信の終刊となりました。地区内各クラブ会員各位の温かいご支援とご協力に心からの感謝を申し上げます。各位の益々のご健勝とクラブのご発展を祈念申し上げます。

ガバナーメッセージ



最終刊に寄せて！

ガバナー 佐藤 秀雄

いよいよ私の年度の月信もこれが最終号となった。毎月読んで下さった会長・幹事、そして購入してまで読んで下さった会員の皆様に心から御礼を申し上げたい。有難う御座いました。

この1年を顧みると多くの会員との出会いがあり親交を深め御世話になった。第1に12人のガバナー補佐の皆さんには公式訪問をはじめグループの勉強会には特に主体的に活動され多くの成果を上げられた事に深甚より敬意を表したい。第2に72クラブの会長・幹事及び副会長の方々にはクラブのリーダーとして素晴らしい指導力を発揮されクラブ運営をリードして頂いた。第3に地区委員長をはじめ委員の皆さん、地区行事のホストを引き受けてくれた千歳セントラルRC大野会長はじめ会員の皆様、千歳RC佐々木会長はじめ会員の皆様、そして地区を支えてくれた地区幹事の皆様方に心から御礼を申し上げる。2002年3月指名委員長の石垣PGと岩城Gが当クラブを来訪されガバナー受託の意思を確認され、ガバナーノミニーとなり、その年の7月ガバナーエレクト、2003年1月末アナハイム、2月末地区委員長研修セミナー、3月クラブ会長研修セミナー、4月地区協議会そして7月地区ガバナーとハードな2年間では有ったが、今ガバナーを終えて良く体力が持ったものだ自分自身にも感謝している。内容的に振り返ってみると多くの反省点が見えてくる。地区の目標だった情報のネットワークの構築、財団の目標達成等はほぼ成功したものの、ポリオ・米山等まだまだ課題が残されている。何よりもロータリアンのロータリーに対する意識高揚の点では評価すべき何も無いのではないかと考えている。周到な準備の下に行動すべきだったにもかかわらず、これを怠り反省の念しきりである。ガバナーとして走りながら考え、歩きながら熟慮したが、時既に遅しであった。やはり後半には会員の減少は止まる事を知らず21世紀のロータリーは、何を目標に何を糧として運動の展開を試みるのか、そのことが私の最大の関心事となった。約半年間の公式訪問を終えて思ったことは会員に対するロータリー意識の高揚を図ることの必要性を痛感した事である。ロータリーは何ぞやと問うと、綱領を推進することだという名回答が返ってくる。それでは綱領とは何ぞやと言うと無言の行

に入る。入会して3年未満の会員が退会を余儀無くするという事は、やはり私はロータリーの真髓を理解せず例会の出席をのみやかましく言われる。これに嫌気がして退会されていくのも一因だと思っている。さすればどう対処すべきなのか。田中RI理事はロータリアンの意識高揚のために日本人ロータリアンに解り易く3つからなる文献を発刊された。それは「ロータリーの概要」、「4大奉仕」そして「ロータリー財団」である。これはロータリーに入会したら直ちに読んで身に付けて欲しいものである。2003—04年度末にネットで流したがプリントアウトして読まれたロータリアンはごく少数であるように思う。従って3部構成のものを1冊に製本し有料で購入して頂くという。私はむしろ無料としロータリアン全員に配付し、クラブ研修リーダーを推挙し研修リーダーによって、これをテキストとして使用し会員のレベルアップを図ることが退会防止につながり、しいては会員増強に繋がっていくものと思っている。クラブで何か奉仕活動をするにしても先輩に言われ嫌々ながら参加するのではなく、喜んで率先して世のため人のために奉仕をする、奉仕に喜びを感じるようになれば真のロータリアンと言えるのではないか。あるクラブを訪問したときニコニコBOXをやっていた。会員は何等かの理由をつけて自主的にニコニコに寄付をしている。それもクラブ会員の半数近くである。多くのクラブはSAAから名前を呼ばれてニコニコに入れているのが実情である。この一事をとってもロータリーに対する意識の差が出ているように思えてならない。クラブが将来会員増強を望むならば、現会員のロータリー意識のレベル向上を図り、ロータリーの真髓を知らせ、運動の何たるかを理解させたとき、自ずからこの運動に共鳴する老若男女を入会させてくれるものだと思っている。日本のロータリアンは近々に10万人を割るかもしれない。しかし、輝かしい未来に向かってRI、地区、クラブが大いなる意欲を持って改革に励み、これを成し遂げたとき洋々とした未来がそこに出現し、更なる磐石の基盤が出来上がるものと思う。

3千余名の会員に心から御礼を申し上げ最終刊とします。本当に有難う御座いました。



大阪（関西）国際大会開催される

5月23～26日、大阪市西区の大阪ドームを中心に開かれた大阪（関西）国際大会は、世界112か国から、過去最多の45,595人（6月9日現在、日本事務局より）が参加し、盛会裏に幕を閉じました。

大会は、千玄室前家元による開会宣言および祈祷にはじまり、4日間にわたって、ロータリーの今後の方針が討議されたほか、各種表彰や報告が行われました。各本会議では、ジョナサン・B・マジアベ国際ロータリー会長が、過去1世紀のロータリーの歴史を振り返りつつ、示唆に富むスピーチを展開。

第4回本会議では、元ロータリー財団奨学生で、前国連難民高等弁務官、国際協力機構（JICA）理事長の緒方貞子氏が基調講演し、難民問題や紛争の解決における教育の重要性などを説きました。

また、会場の1ツリーガロイヤルホテル内には、

各種展示やロータリー親睦活動、友愛の家のブースが設けられ、さらには「道頓堀ナイト」、「神戸ナイトクルーズ」などのイベントを通じて、国内外から訪れたロータリアンたちが気さくに、楽しげに交流する様子が見られました。

今大会の様子は、地元紙をはじめ各メディアでも紹介され、ロータリーの周知に大きく貢献したのを

はじめ会場周辺のホテルやレストラン、土産物店の利用など、多大な経済的効果が期待されるとも報じられました。



開 会 式



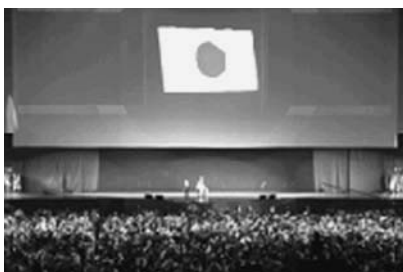
マジアベRI会長挨拶



千玄室開会宣言



太田大阪府知事挨拶



フラッグ
セレモニー



会 場 風 景

本 会 議



緒方貞子氏による基調講演



RI会長ノミネー決定宣言



カール・ヴィルヘルム・
ステンハマーRI会長
ノミネー挨拶

各ブース風景



ロータリー財団関係ブース



インナーホイールのブース

北海道ナイト

5月23日午後7時より第2500地区・第2510地区合同の北海道ナイトがホテルグランヴィア大阪において開催されました。地区内外クラブはもとより、外

国からのロータリアンも迎え、総勢280名のご参加を戴き、盛大に開催されました。



豊島第2500地区ガバナー挨拶



佐藤第2510地区ガバナー挨拶



第3700地区(韓国)からの皆さん



Cookご夫妻(第5010地区・アラスカ)



ヴィクトリアからの皆さん



John T. Brewer 氏
(第5080地区)



クレイグ氏(メルボルン)



会場風景



札幌はまなすRCの皆さん



司会の金井友情交換委員長

閉 会 式



マジリアベRI会長閉会挨拶



千玄室国際大会実行委員長表彰

エンターテイメント



東儀秀樹氏



新垣 勉氏



島田歌穂さん



会 場 風 景



手に手つないで



フィナーレ



各RCからのバナー

リーガロイヤルホテルの
歓迎モニュメント



ガバナー補佐一年を省みて



1年を省みて

第1グループ 渡部 英次
(留萌RC)

光陰矢の如しと言いますが、仕事の合間を利用したグループ内各クラブ訪問も終わってみればつい昨日の感がある。

各クラブの状況を把握する為に最後の被選クラブ理事会・協議会に参加し、ジョサナン B. マジリアベRI会長、佐藤秀雄ガバナーの方針の説明も私なりにさせて頂いた。

活動計画は既に出来上がっており、委員会活動に取り上げて頂けるのは今後の課題となるであろう。各クラブとも好意と友情に満ちて迎えて頂いた。

グループ内の全クラブでは会長、幹事を中心にクラブ活動に熱意が感じられた。仕事の余暇は目的に向かって情熱を燃やすのは気持ちが良い。ワークシェアリングと言う言葉が好きである。ロータリー活動はその中に入る。

2003～04年度からIMの開催は無く、各グループの自由となった。少し活性化の為に、クラブで情報集会を開き、皆さんの合意の下に「地域の子供たちに“手を貸そう”」のテーマで第1グループワークショップを開催した。5分科会では子ども奉仕に関する基礎部分を討議し、また佐藤ガバナーのご講評を頂き有意義な時間を過ごした。今後のクラブ活動活性化の一助になれば良いと思う。之により、少しでも好意と友情を深める事が出来たならば幸いである。出来るだけ低経費で、最高の内容になるように努力をお願いし、当クラブの清水実行委員長はじめ会員皆様には大変お世話になった。

絶えず情報の伝達その他でお世話になった中川補佐室長に衷心よりお礼を申し上げる。また、ご尽力頂いた佐藤ガバナー及び地区役員、ご協力頂いたグループ内各クラブの会長、幹事及び会員の皆様に衷心より感謝申し上げます。

来年はロータリー100年になる。活性化し飛躍する事を期待する。



1年を省みて

第2グループ 土山 久男
(芦別RC)

「1年を省みて」との題名をいただき、充実した1年であったと結論づけることが出来る。地区リーダーシッププランに沿い4年目を迎えた第2グループでは4つのクラブが丁度一巡したことになる。

ガバナー補佐として指名を受けた時に輪番制とはいえその責任の大きさにプレッシャーを感じた。補佐の役割は分区代理時期とは幾分異なることも聞いていたし、役割が多岐に亘っていることに驚きもした。

驚きといえば、IMの休止が発表された時である。私見としては、IMの必要性は認めていた。否、むしろ実施すべきであると考えていた。

只、その手法には問題があり大改革(?)しながら存続するものと思っていた。補佐として地区の方針は速やかに最大限担当クラブに伝達することを心掛け、特にIT化の推進を奨励した。これはすでに実践しているクラブもあり、新しく導入したクラブではその機能に感嘆する会員が多く、又会員同志の意志の疎通に役立っている。

IMに変わるものとして、全クラブの合同例会を実施したが、親睦交流と研鑽の場を設けそれぞれが初期の目的を果たしたと自負している。

やはり、補佐としての責務はクラブ訪問であろう。1クラブに4回の訪問は受ける側としても4回が限度であろう。又、ガバナー訪問とは違いクラブにアドバイス出来る立場ではなく(才能が無く?)ジレンマも感じた。しかし親しみを込めて歓迎されたことに大変感激したものである。

地区大会は各クラブに参加要請をし多数の会員がそれぞれ大会のすばらしさを実感し得たであろうし、又千歳クラブを初めとして地区大会に携わった皆様にお礼を申し上げたい。たまたま今年は国際大会が大阪で実施され、参加した会員も良い体験が出来たことでしょう。

今期最末尾の新旧補佐会議では、旧補佐の責任を終え

た安堵の表情を見るにつけ、新補佐の1年後、充実した1年であったと感じる人々が多数いることを念じたい。



ガバナー補佐退任のご挨拶

第3グループ 西原 宗幸
(岩見沢東RC)

非力な私に対して、グループ内の皆様方から温かいご協力を賜わり、一年間曲がり成りにも、重責を全う出来ました事に厚くお礼を申し上げます。振り返ってクラブ訪問、クラブ協議会、ガバナー公式訪問等、各々の機会に際して大変な心づかいとその対応振りには私のロータリー人生にとって、忘れる事が出来ません。ロータリーの友情と、絆の深さに改めて感謝致します。今後共各クラブの益々のご発展とロータリーの奉仕の理想具現に向けてご活躍されます事を願ってお礼の言葉と致します。

女性ガバナー補佐として



第4グループ 戸部アナマリア
(札幌はまなすRC)

当地区初めての女性ガバナー補佐を引き受け、正直大変なプレッシャーを感じました。自分では何が出来るかと言う事は不安でした。又女性である事も気になって居りました。

ですが、各クラブを訪問をし、生のクラブ活動と生のロータリアンとのお付き合いが出来ました事は、私にとって大変すばらしい経験でした。日本に来て長年暮らしていますが初めての男性社会とロータリアンとしての日本人との本音の出会いが出来ました事は大変貴重で忘れられない事でした。もう一つ学んだ事はロータリークラブの大、小は会員の数でははかれない事も知りました。それぞれの熱意と活躍を知り改めてロータリーは奉仕をする人々の集まりである事を自覚しました。又女性である事もあまり感じさせられないお付き合いをいただきました

た事について大変嬉しかったです。

終りに、一年間に会ってご協力、ご理解と温かいお言葉、又佐藤ガバナー、遠藤エレクト、PDGの皆様の励ましのお言葉と何よりも11人のガバナー補佐と沢山のロータリアンとお会い出来ました事は心から感謝を申し上げ、私の人生の中で大事な1ページになりました。本当にありがとうございました。

YOURS IN ROTARY

手を借りながらの貴重な体験



第5グループ 玉井 清
(札幌清田RC)

ガバナー補佐の指命を受け、それは不安からの始まりであった。しかしその任は2003年4月24日札幌東RCのクラブ協議会を皮切りにグループ内クラブの協議会訪問から始まった。全てのクラブ協議会を終え、会長、幹事会を終えていよいよ新年度を迎えた頃ようやく落ち着きを取り戻した思いであった。

今年度は例年開催されていたIMを休止して、グループ内合同による勉強会を開催、又4・5グループを中心とした市民フォーラムを開催した。尚市民フォーラム開催日時が札幌東RC45周年記念市民フォーラムと同日であったことは私の連絡調整不足であり誠に申しわけなく関係各位に深くお詫び申し上げたいと存じます。

各クラブを訪問させて頂き夫々のクラブの特徴がありその優れたクラブ運営に只々敬服するのみであった。特に札幌大通公園RCは20名の会員で全てが手作りのクラブ運営をしながら地域密着の奉仕、さらに国際奉仕に大変活躍をされ、活発なクラブ運営をされエネルギーを感じた。さらなる発展を切に祈念したいと思います。

任を終えるにあたりうまく出来たとは思いませんが、今年度のRIテーマ『手を貸そう』であります。私自身ガバナーはじめ各クラブの大変多くの皆様の手を借りて貴重な体験をさせていただきましたことを心から感謝申し上げます。



1年を省みて

第6グループ 梅庭 昭寛
(岩内RC)

例会場のガラス窓越しに石狩湾の広がる小樽銭函クラブから、ニセコ連峰の裾野の蘭越クラブまで、車で片道2時間余りのエリアに点在する第6グループ、7クラブの間を何度となく往還した訪問の旅。ガバナー補佐会議、地区協議会、地区大会その他で通いなれたガバナー事務所所在地の千歳市。そして年度終盤の大阪で開催された世界大会。いま机の上に山積した資料を整理しながら、あらためてこの1年有余のさまざまな出来事が脳裏に去来するにつれて、ガバナー補佐としての“ロータリーの旅”が終わったんだという感慨が浮上してくる。それはまた、いままで直接対面することも、話し合うこともなかった多くのロータリアンとの出会いの旅でもあった。

地区レベルでもグループ内でも長年在籍した会員が一人また一人とクラブを去ってゆく年度の始まりだったが、その流れは依然として続くこの1年だった。だがその一方で、そういう時勢であればこそ奉仕と親睦のクォリティーを高めようと発奮、努力するロータリアンの姿に接することのできた1年でもあった。

そんなロータリアン達の姿が、「黙って退会の道を選ぶか、苦しくとも踏み止まって改革に踏み出すべきか…」と佐藤ガバナーが年頭新春に発したメッセージに重なり合って、いま百年目を迎えるロータリーに、新たな胎動が始まりつつあることも予感されてくるこの1年であった。

一年を顧みて



第7グループ 後藤 篤人
(由仁RC)

何とか1年が過ぎてゆきました。人に物を頼まれると断れない性格が災いし、ガバナー補佐という大役を良く考えもせずを受けてしまい大変苦勞しました。この1年を振り返ると10年少々

のロータリー経験の中で一番充実していた様な気がします。なかでも、クラブ訪問は時間的に大変な務めではありましたが、各クラブが温かく迎えてくださり、例会の運営や各委員会の運営に各クラブそれぞれに特徴があり、非常に楽しくまた私自身、大変勉強になりました。

ガバナー補佐として多少悔いが残るのは、和田前ガバナー補佐からの引き継ぎのなかに交換留学生をグループ内事業として取り組めないかという事項がありました。

交換留学生をクラブ事業として取り組むには受け入れ高校の問題、ホストファミリーの問題、またクラブの財政的問題などがあり、私も和田前ガバナー補佐の提案には賛成できましたし、佐藤ガバナーからも取り組みの一つであると言われたのですが、各クラブの温度差も大きく、また私の準備不足からもう一つつっこんだ話し合いが提案できなかつた事が残念でありました。

何はともあれ一年無事に終わることが出来たのは、グループ内各クラブ会長・幹事・会員各位の絶大な支援のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

手を貸していただきました

第8グループ 細川 好弘
(静内RC)



佐藤秀雄ガバナーをはじめ多くのロータリアンの皆様との出会いのなかで、心から手をさしのべていただいたこの1年間に感謝しております。

国際ロータリー100周年を目前にした心はずむ年に相応しく第8グループ5クラブの夜間例会に各クラブ会長・幹事と共に思い出に残るおじゃまをさせていただきました。

佐藤ガバナー、地区幹事の皆様にも同席を賜り参加ロータリアン共々楽しいひとときを演出下さいました5クラブ会長・幹事、会員の方々にお礼申し上げます。

広大な太平洋と日高山脈に恵まれる第8グループ
えりもRC (地域密着の奉仕活動が光ります)
三 石RC (青少年健全育成に積極的です)
様 似RC (クラブの活性化に一丸となっています)

浦河RC（乗用馬の寄贈等ユニークな活動に溢れる）
 静内RC（奉仕に汗して地区野球大会優勝に沸く）
 の5クラブが賑々しく参加された意義ある地区年次大会。
 晴天に恵まれたガバナー公式訪問、岩城バストガバナー
 より卓話をいただいた合同例会、前述のおじゃましませ
 プログラム、「四季の流れに国境はない」と力説され
 た大阪国際大会への参加、特に第8グループ運営費を賄
 う特別会計の創設等々、5クラブの手を貸していただき
 ながら楽しいロータリーを体験いたしました。

ガバナー補佐として不行届きがあったことを反省して
 おりますが、無限に続けられるロータリーの奉仕と親睦
 の輪が更に拡大され世界平和への願いを共有しながら貢
 献できればと勉強させられました。

佐藤秀雄ガバナーありがとうございました。

一年をふりかえって



第9グループ 宮武 忠史
 （登別RC）

今年度は、クラブの各会長・幹事間
 の交流を第一に考え（7回の会長・幹
 事会）新しい試みとして5つの委員会の委員長を招集し
 ての交流会が特徴的な活動といえます。親睦、プログラ
 ム、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕それぞれの委員長と
 会長・幹事が交わった交流会は、想像以上に活発な意見
 や提案がありました。

その結果の一つとして、6月5日に登別温泉で行われ
 た地区米山学友会の家族交流会には第9グループ内6ク
 ラブから会長・幹事が出席されました。地区とクラブの
 橋渡し役でもあるガバナー補佐の活動が理解された一面
 でもあると考えます。

2月8日の第9グループ会員交流会は、IM中断後の
 今後の活動の指針になったものと思います。佐藤秀雄ガ
 バナーご夫妻、遠藤秀雄次期ガバナーご夫妻、そして兄
 弟クラブの白老RC（22名）の参加もいただきました。

総勢168名で開催された懇親会では、会員有志による
 合唱団の参加や、ポリオプラスへのチャリティーオーク
 ションにより、多額の寄付をすることができました。

一年間ガバナーをはじめ、第9グループの会長・幹事、
 そして会員の皆さんに大変お世話になりました。心より

感謝を申し上げる次第です。

楽しい思い出



第10グループ 鹿野 文男
 （函館亀田RC）

ガバナー補佐を引受ける事になり、
 不安を感じながらも早一年を経過、役
 目を終了しほっとしております。15年2月のガバナー補
 佐会議に始まり、7月初めのガバナーの公式訪問とあわ
 ただしく始まった当初、ガバナーにとっても最初の公式
 訪問で緊張したと言っておりましたが、私にとっても緊
 張の連続でした。

初日の市内クラブ会長・幹事・ガバナー懇談会、翌日
 の郊外クラブの懇談会に引続き、10・11グループ合同例
 会と無事終了したときは、ほっとした事を思い出されま
 す。

今、一年を振り返れば、とても良い経験をさせて戴き
 ました。当初ロータリーの原点をもう一度と、ロータリー
 の書籍、資料等を一通り軽読し、又ガバナー補佐として
 ロータリーを楽しみながら務めようと思い、一年間過ご
 しました。今思えばロータリーを通じてたくさんの友人
 が出来、又多くの方とのふれあいが出来た事など、楽し
 みながら過ごし、とても良かったと思います。

5月には大阪の国際大会に出席し、感動しました。

グループ内クラブを訪問、又行事に参加し、各クラブ
 の運営、例会そして各々特徴あるクラブ活動を見て、又
 10・11グループの会長・幹事会に出席し、意見交換、懇
 談などとても参考になる事が多く、勉強にもなりました。

佐藤ガバナー、ガバナースタッフ、そして10・11グルー
 プ会長・幹事の皆さん、一年間楽しませて戴きまして深
 く御礼申し上げます。ありがとうございました。

一年を省みて



第11グループ 今 均
 （函館五稜郭RC）

一年間、ガバナー補佐を務めさせて
 いただきました。時には本当に長いなあー

と思った事もありましたが、終わってみればあつという間の充実した一年でありました。又、自らロータリーを考え、ロータリーを体験し、ロータリーを実感した一年でもありました。

第11グループは絶えず第10グループと共同歩調を取り、道南のロータリー活動を円滑、かつ協調的に運営することを皆考えています。この特徴は、他の2510地区のグループには見られない素晴らしい伝統であり、この伝統に支えられ、第10グループの鹿野ガバナー補佐とともに、この一年間、無事、補佐の仕事を全う出来たものと感謝しております。

時には地区と各クラブの温度差、ロータリー財団の諸問題、会員の減少等、頭の痛い事も多々ありましたが、しかしこれは当地区に限らず、全世界の問題でもあり、21世紀は来年度100周年を迎える国際ロータリーのスタンスとして、これらの諸問題を解決すべく努力し変貌していかなければならないでしょう。すなわち、100周年がロータリー変革の分岐点になると考えます。

2003年～04年度の会長・幹事会はすべて第10・11グループ合同で6回開催されましたが、とても皆さん仲が良く、一致団結してロータリー活動を全うしたといっても過言ではないと思います。両グループ11クラブの会長・幹事、並びに2人のガバナー補佐を加え、計24名で『鑽志会』という会を作りました。これは2003年～04年の3と4を取ってサンシ会と命名されたわけですが、役は終わってもこれからも年に1～2回はゴルフコンペや小旅行をしながら親睦をいつまでも楽しみましようというものです。本当に一年間努力した効があったというものです。

最後になりましたが、佐藤ガバナーはもちろんのこと、木村、武石両代表幹事、上井幹事をはじめたくさんの地区の皆様へ深く御礼を申し上げます。この一年間、本当にありがとうございました。



ガバナー補佐を終えて

第12グループ 山本 雅昭
(苫小牧北RC)

前年度、ガバナー補佐を引き受けてからあつという間の1年間でありました。最初、意気込みはかなりあったのですが、仕事の関係上あまり活動ができなくなり、皆様には大変ご迷惑を掛けしてしまったことを、ここでお詫びを申し上げます。

当12グループの各クラブは、それぞれ独自の活動を行っている特異なグループとっております。それは各クラブが如何に地域社会に役に立てる奉仕ができるかを常に考えているからであり、そのための努力を惜しまず続けてきた結果であると思っております。

残念ながら、各クラブとも会員数が減少しクラブとしての活性化が下がっているのが最近の傾向であります。しかし各クラブにはすばらしい会員がまだ大勢いらっしゃいますし、ロータリーをこよなく愛している方々が多くいらっしゃいます。そのような方々から多くの示唆に富む指導をいただきましたことに対しても心より感謝しております。

ロータリークラブは相互理解を高める親睦の場であると同時に、社会奉仕を学ぶ修養の場であると言われております。しかし、近年この思想の理解があやふやになってきているのではないかと感じられるのは私だけなのでしょう。これは現在の社会情勢だけの問題ではなく、各自の意識の問題ではないかと思っております。その考え方によって組織は様々な変化をして行くもので、活力は増加もしますし低下もするのではないかと思っております。

死ぬまで鳥は飛び、魚は泳ぐ動物であると同様に、本能的に考え、学ぶために生まれてきている動物としての人間は死ぬまで向上を求めるのがその摂理ではないかと思っております。その勉強の場として、ロータリークラブは我々事業主としては最高の場の一つと考えられます。殺伐とした社会のみが前面に目に入る社会状況において、人が心の安らぎを求めることは必要なことであり、またその社会に何ができるか、どのような行動ができるのかを考えることも我々の使命であると思っております。そこにロータリークラブが、安らぎ、研修および行動を求める場としての大きな意義が認められるのではないかと私は考えております。

今後ともこの理想の下に努力し、会員ロータリアンの方々にも理解を求め、ロータリー活動を進めて行きたいと思っております。

この1年間はガバナー補佐としての活動が全うできなかった1年であったことが大変悔やまれますが、さらに大きな経験をさせていただいたこととロータリークラブを再び考えさせられた年として記憶に残る1年間だったと思っております。その意味で、様々な応援をしていただきました皆様には大変感謝致しております。

ありがとうございました。

委員会委員長挨拶



北海道ナイト盛大に開催される

地区オン・ツー大阪委員会
岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

大阪国際大会開会式の後、第2500地区・第2510地区合同北海道ナイトが、場所を変え、大阪駅のそばのホテルグランヴィア大阪においてPM7:00よりPM8:30まで開催されました。国際大会開会式の終了後、大阪ドームより三々五々に集まり、北海道ナイト開会の前に多数の人々が受付を終了しました。豊島第2500地区ガバナー、佐藤第2510地区ガバナー開会の挨拶に始まり、なごやかなうちにスタートしました。その後も続々と道内ロータリアンが集合され、地区内クラブと関係の深い海外ロータリアンも集合され、最終的に280名の参加がありました。海外からはアメリカ、カナダ、オーストラリアそして最後に、待ち受けておられました矢橋さん（札幌西RC）のご案内で多数の韓国のロータリアンが集合、総勢22名のお客様がありました。その中で飛び入りで、アラスカのJuneauクラブのCookご夫妻（第5010地区友情交換委員）が、バナーを持って馳せ参りました。

パストガバナー、ガバナーエレクトのスピーチで会場は大変なごやかになり、時間を忘れ盛り上がりました。国際大会における北海道ナイト独特の雰囲気の中、最後まで楽しいひと時を醸し出しました。また来年の100周年記念シカゴ国際大会での再会を期し散会しました。

本北海道ナイトをお世話いただいたロータリアンの皆様に深く感謝しお礼の挨拶とします。



2510地区会員増強ガイドライン

地区会員増強委員会
小林 博
(札幌北RC・PG)

会員増強が当地区においても期待とおり進まないどころか会員数はむしろ減少の傾向にある。その原因は外因としての経済的不況が考えられ、一方内因としてロータリーそのものの魅力の低下が考えられる。

会員増強が思うように進まない理由は上記外因もあるが、本質的にはむしろ内因としてのロータリーそのものの魅力の低下にあると思われる。そのような前提に立つ

て「会員増強ガイドライン」を作成し、その中には各クラブの例会での魅力づくりをどのように進めたらよいかの具体策を記載した。

願わくば「地区会員増強ガイドライン」が会員増強のための討論資料として、地区ロータリアンによって広く活用されることを期待する。



ご挨拶

地区文献資料室
関堂 勝幸
(札幌東RC)

昨年、地区文献資料室委員長をお引き受けしてから1年たらずにて退任することになり私としては、当初の計画を推進することが出来なくて誠に残念です。しかし、時代の流れに沿ってIC委員会のご協力により文献資料のリスト又は情報については、各クラブ並びに会員にはいち早く伝わっていることと存じます。資料も今やビデオテープ、CDに変わりつつあるなかで、地区文献資料室の慣用をロータリアンに知らせることが重要であると感じるとともに、地区内外のロータリー活動の記録がこれからのロータリー歴史を刻む上で必要不可欠と認識し活動すべきであると思います。わずか1年足らずの委員長にて活動実績が上げられませんでしたこと心よりお詫び申し上げ次年度へ引継ぎ致します。



ご挨拶

地区クラブ奉仕委員会
羽部 大仁
(札幌南RC)

本年度の活動計画に基づいて委員会活動を実施した。振り返ると反省点も多いが、次年度に引き継ぎたいと考えている。その中で地区のホームページにクラブ奉仕について掲載し、会員増強と親睦プログラムに関して紹介した。

1. 地区委員会では、第3分科会（クラブ奉仕部門）を担当し、次年度に向けてクラブ奉仕の重要性を強調した。
2. 委員会を適宜開催した。富原カウンセラーにも参加頂き、各委員の質問には気軽にお答え頂きご指導を願う

た。

3. 地区のホームページにクラブ奉仕に関して、会員の退会が地区内各クラブの悩みになっている昨今、会員増強に成功した事例を紹介し、又新しいプログラムで、楽しい例会も紹介できた。今後は更新について考えたい。
4. クラブ奉仕の重要性と題して、札幌西クラブの例会で卓話を行った。
5. 各委員には、急な案内にも笑顔で参加して頂いた。熱心な意見交換に時間が足りなかった。次年度も是非このムードで充実した委員会活動を期待したい。



今年度終了ご挨拶

地区職業奉仕委員会
富岡 公治
(札幌西北RC)

1. 地区職業奉仕委員会は、ロータリー創立百周年を迎えるにあたり、ロータリー創立者ポール・ハリス、「Service Above Self」の標語を作ったフランク・コリンズ、「He profits most who serves best」の標語を作ったシェルドン、そして四つのテストを作ったハーバート・J・テラー等のロータリーの創立指導者達の理念を確固として守り抜き、地区内にロータリー職業奉仕理念と活動の重要性を普及強調することを最重要課題としました。
2. そして、10月の職業奉仕月間には、地区内4クラブからの地区職業奉仕委員をクラブの卓話者として派遣してほしいという要請に応じて派遣しました。
3. 特に、苫小牧東クラブが開催した職業奉仕フォーラムに参加出来たことは地区職業奉仕委員会としても大変有意義な時間を過ごすことが出来たと思っております。
4. 又、地区職業奉仕委員会の活動として次の通りの要領にて第3回ロータリー職業奉仕市民講座を開催致しました。

記

1. 講師 札幌RC会員 田中良治
(医療法人札幌田中病院 理事長)
2. 演題 「大往生のための70章」
50歳からの人生の生き方と日常生活の送り方について
3. 日時 平成15年10月16日(木)
午後1時～午後3時
4. 場所 北方圏学術情報センター大ホール ポルト
当日開催会場のポルトに続々と市民が来場されまし

た。約120名の市民の人達に田中良治講師が次々とユーモアを交えて自らの医師としての体験と事例を多数紹介をしながら講話し、場内は笑いと共感と和やかな空気でいっぱいでした。

市民の人達は高年齢になってからの心の持ち方と健康と周りの人との接し方について講師の話から多くの有益なアドバイスを受けて満足して帰られました。

5. 当職業奉仕委員会は今後も多種多様の職業を有するロータリアンを講師とする市民に奉仕するロータリー市民講座の連続開催を企画実行していきたいと考えてます。



社会奉仕活動は地域とロータリーを結びます

地区社会奉仕委員会
対木 正文
(札幌西RC)

地域のニーズに応えた社会奉仕活動は、ロータリークラブが実施できる最もやりがいのある活動の一つです。年度始めに社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、クラブ社会奉仕委員長様を対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内5ヵ所で開催しました。お世話いただいたクラブに心から感謝申し上げます。

この交換会を通し、年度始めに他のクラブの奉仕活動を知ることにより地域社会が真に求めている奉仕活動をより幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐ助けとなりました。そして、クラブが抱える諸問題について多様な意見や悩みなどが率直に話されました。私は会員減少の中で地域に密着した素晴らしい活動をしているクラブに心から敬意を表すると共に、クラブの目線に立って各クラブが活動しやすいように情報を提供しサポートすることの大切さを再認識いたしました。

現在、各クラブのご協力を得て2003-2004年度に実施された「社会奉仕活動一覧」を写真入りで作成中です。この冊子を活用することにより各クラブがより地域に密着したプロジェクト選択に役立つと共に、ロータリー活動の一部を広く社会に知ってもらい、会員増強の一助になると考えております。

また、社会の成熟化、社会の不安定化と共に増加、潜在化している、「児童虐待」の問題を各クラブと共に考え、児童虐待問題を考えるロータリー市民フォーラムを昨年11月に札幌で開催しました。特別講演者にはWCSで支援したことのあるパペナ・ホンサクン氏(タイ国パペナ財団理事長、ロータリアン)からタイの児童と女性への虐待の現状と発生理由、命のフリーダイヤル、受入や更

生施設など財団の活動をお話してもらいました。その後、質は異なるが日本の悲惨な児童虐待の実態と治療例、社会復帰の問題点をその道の専門家が話されました。社会的関心の高い問題だけに多くの市民が参加しました。

この1年間、ガバナーを始めガバナー事務所のスタッフの方々、ガバナー補佐の皆様、クラブ会長様、クラブ社会奉仕委員長様、そして、地区社会奉仕委員の皆様に変にお世話になりました。ありがとうございました。



今年度を振り返って

地区家庭奉仕委員会
和田 壬三
(札幌南RC)

わが国における家庭の問題は、諸外国に比して深刻です。(財)日本青少年研究所が全世界の高校生と中学生に、自分の両親の元に生まれて非常に満足していますかと質問したところ、たくさんの国は80%以上が満足していると答えていますし、50%以下の国は無いのに日本だけは25%です。同じ傾向は、この5年間に認められるのです。また、東洋大学の中里教授が、日本とトルコ、アメリカにおいて実施した中高生対象の調査でも同様な結果が認められます。

ここまで、子供を追い込んでいる家庭の問題は、放置できない深刻な状態にあります。当地区で家庭奉仕委員会が発足したのは、偶然ではありません。

本年度、1～2のクラブでは、緊急の課題として、社会奉仕委員会で取り上げて下さったのですが、大半のクラブには、問題意識が浸透せずに、今年度は終了してしまいました。

今生じている児童虐待、低年齢児の凶悪な非行、いじめ、不登校、引きこもり、育児放棄、離婚率の急激な上昇、婚姻しない若者の急増など、家庭を巡る様々な社会現象は、わが国における家庭の状況が無視し得ない深刻な状態にあることを物語っていると思われるのです。

当委員会は、ガバナー月信等で是非取り上げていただくように訴えましたが、努力が足りなかったようです。

次年度は是非とも取り上げていただけるよう頑張りたいと思います。



退任挨拶

地区子ども奉仕委員会
米山 道男
(札幌北RC)

ガバナー月信第2号(03年8月)に

書きました今年度活動計画は、(1)地区内5ヵ所での(社会奉仕3委員会合同の)意見交換会の実施、(2)協力者名簿の作成、(3)各地の教育委員会への協力依頼、(4)各小中学校との連絡調整、(5)会員による授業と小中学生による見学・実習の実施、でした。

(1)は、年度始めの03年7月26日に函館、8月に入り2日に滝川、9日に苫小牧、23日に小樽、30日に札幌で実施し、地区内での御理解を得ようと努力しました。

(2)は、協力会員登録数が目標(会員数の10%)に届かないため登録締切日を再三延長し、最近ようやく名簿作成を開始したところです。年度内に発行できず御迷惑をお掛けしました。次年度に跨りますが、近々第1冊の発行に漕ぎ着けたいと思います。登録会員数は、現在、授業協力者が144名、職業体験協力者が92名、合計延べ236名です。将来第2冊も発行することになると思いますので、未登録の会員各位におかれましては引き続き御登録をお願い致します。

このような状況にあるため、(3)～(5)は、次年度に持ち越すことになりました。

なおこの他、(i)既に02-03年度に先導的に実施した授業の成果を生かすため、去る5月に「授業経験者・受入れ学校関係者・地区委員合同懇談会」を開催しました。また、(ii)本委員会と同様の活動をしている委員会の全国集会である「全国青少年育成委員会議」(03年度から年3回開催)に、今年度も3回(03年10月、04年2月、6月)出席して、他地区委員と情報交換しました。[(i)(ii)共、本号別頁「委員会報告」参照。]

新設委員会であるため今年度は助走期間でしたが、それでも、意見交換会・各種地区会議・各クラブでの卓話などを通じて、本委員会の意図する所が少しずつ認知されるようになってきましたことは、一応の成果であったと思います。間もなく発行予定の「協力会員名簿」が次年度の展開の基礎となってくれることを期待しています。1年を通じての会員各位の温かい励ましと御協力に深謝申し上げます。



退任挨拶

地区国際奉仕委員会
青木 功喜
(札幌東RC)

前年度に比べ佐藤年度は振幅の浅い年度であった。すなわち試行錯誤の傾向のあった前年度のあと、何が変わらなくて何が変わるべきかを考えさせられた1年であった。前年度の次々出てくるテーマを捌くのに追われ、その提案の意味がわかるまでに行かなかった傾向があった。それは委員会の未熟さでもあったのか

も知らない。

一方サンアントニオに始まった北海道ナイトは200人をこえる出席者があり、盛会であった。サンアントニオ、バロセロナ、ブリスベンと続けた成果がようやく花が咲いた感があり、嬉しく思った。来年のシカゴ大会の苦勞がむしろ心配である。

本年は世界のロータリーと云う事で多くのクラブで卓話をする機会に恵まれた。すなわち地区の70を超えるクラブが同じ国際奉仕を行う際には、多くの異なる問題を抱えていることがわかった。30人未満のクラブでは国際奉仕には財団、青少年交換、米山が混在しており、どれも同じように行えないのが実態である。併し50人を超えるクラブになるとこれらが分業できるようになり、一見総花的になるが内容は前者とあまり変わらないのが実態である。それぞれ各クラブの伝統を大切に、ニコニコで賄うので、資金が大きな課題である。多くのクラブは周年記念がありその際に纏まった国際奉仕活動をしているのが現状である。地区はあくまでもクラブのために存在するものであり、各クラブからの分担金で活動している。これらの資金は各クラブの方が関心を持って充分活用して頂きたい。当地区の国際奉仕が欧米からアジアの近隣諸国に方向転換されて来ている傾向が新しい流れとして出来てきており、今後さらに大きなものになって行く事が期待されている。最後に地区委員会に20年携わって来て色々ロータリーの勉強をする事ができた事を、歴代のガバナーに感謝したい。



関口清委員の急逝を悼む

地区友情交換委員会

金井重博
(札幌南RC)

昨年度に引き続き、佐藤ガバナーの年度でも友情交換委員長を務めさせて頂き、青木国際奉仕委員長のご指導のもと、委員の皆様と力を合わせ活動をしてまいりました。事業の一つとして、前年度に実施した地区内クラブの国内外における姉妹・友好クラブ現況調査の更新の為、新規締結や変更について調査し、月信11月号にて報告させて頂きました。また、当委員会が運営に参加させて頂いた大阪国際大会での「北海道ナイト」には、ガバナーより特別予算をつけて頂き、アメリカ、カナダ、オーストラリア、韓国から22名のゲストを招待致しました。特に3700地区の韓国大邱市からは10名の役員の方のご参加を頂き、国際色豊かな、大変盛大な会となりました。また、交流の申し出を頂いた5080地区

(カナダ〔ブリティッシュコロンビア州南西部〕、米〔ワシントン州北東部・アイダホ州北西部〕)からパストガバナーが参加されました。今後、青少年やGSE等での交流先として期待できる地区であるということを申し添えます。

しかしながらこのような活動の中、今年4月に当委員会の委員としてご活躍いただいた関口清氏(札幌モーニングRC)が急逝され、ショックと深い悲しみを感じております。関口氏は委員会でも積極的にご意見を出され、今後の地区の交流発展の為に情熱をもって参画して下さいました。「北海道ナイト」に関口氏のお姿がなかったことは大変残念でなりません。委員会一同、関口氏のごこれまでのご協力に感謝し、ご冥福をお祈り致します。

最後に、私どもの調査にご協力頂いた地区内クラブの皆様、「北海道ナイト」にご参加頂いた皆様、そしてご指導・ご協力頂いた地区役員の皆様に深く感謝を申し上げます。



任期終了に当たって

地区ロータリー財団委員会

森本正夫
(札幌西北RC・PG)

富山先生の後を継いで財団委員長を務めさせて頂き、おかげさまで任期満了を迎えることができました。これもひとえに、財団の各委員会の委員長ならびに委員をはじめとして、会員の皆様のご支援とご協力によるものです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

またここ数年間は、経済不況がロータリーにも大きく影響し、会員数が減るなど見通しが暗い時期が続いておりましたが、ここに来て経済の回復が確実なものとなり、ようやく明るい見通しが出て来たのは喜ばしい限りです。

私は、新年度から水資源タスクフォースの第一ゾーン・コーディネーターを拝命することになりました。次年度のグレン・エステスRI会長は、環境問題や保健問題に大変関心が深く、その一環として、川・湖・溪流その他の水資源の保護や浄化に特に力を入れようとしています。これを受けて、水資源の重要性に対する認識を高めるため、ゾーン内の12地区ならびに各クラブに情報を提供しながら活動を進めて行くこととなります。財団委員会の皆様、国際奉仕委員会の皆様はじめ会員各位には、引き続きご支援・ご協力をお願いすることになるとと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



5つのクラブで卓話して

地区財団増進委員会

大村 孝男
(千歳RC)

本委員会の最大の責務は、ロータリー財団の活動や財務内容等をクラブ会員に説明し、寄付に対するご理解をいただき、1人でも多くの方に寄付していただくことにあります。

具体的には、財団セミナーや地区大会における活動や、寄付の達成状況に応じての文書による協力要請を主とした活動を行いました。

また、要望のありました5つのクラブにおいて、財団の活動内容と寄付金の流れ、財務内容、ならびにポリオプラス活動についてスライドを作成し、卓話を行いました。スライド作りには仕事の合間を見て3週間掛かりましたが、これにより私自身、財団への理解を深められたものと思います。

さらに今年度は2004年4月末の集計時に未納であったクラブに対し、個別に寄付の要請を行いました。その結果、昨年度寄付に応じていただけなかったクラブが4クラブありましたが、今年度は全クラブから寄付をいただき、年次寄付も目標を達成することができました。

本年度の皆様のご協力に感謝の意を表しますとともに、次年度もご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。



日本と世界との架け橋に

地区国際親善奨学金委員会

土橋 信男
(札幌南RC)

今年も1月から始めた募集により、6月末の面接審査で2005-2006年度派遣の国際親善奨学生を9名選考しました。毎年のことですが、優秀な応募者が多いので、面接審査にあたるわれわれはいつも選考会議で、全員送り出したいねと言い合います。

4年前に委員長をお受けした時、委員会で協議した結果、これからはできるだけこれまで派遣しなかった国、特に東南アジア、アフリカ、南米などに派遣することを期待したいという結論を得ました。そして、それを願ってきました。

でも、これは公募の時に条件として公示することはできません。しかしながら、有難いことに、この3年間にそうした国々を希望する応募者が次々に現れ、そして選

考に合格したのです。かつてのような米国一辺倒の応募でなくなったのです。

21世紀の日本のあり方が問われています。米国との深い関わりはあるものの、もっとアジア諸国や他の国々との関わりを強めることが期待されているといえましょう。

昨年から今年にかけての本地区からのロータリー国際親善奨学生は、韓国、タイ、トルコ、セネガルなどで学びます。嬉しいことです。日本の将来を担ってくれる若者がそれぞれの地で親善大使として学びつつ国際性を養っているのです。

本当の意味での日本と世界との架け橋に育ってくれることでしょう。

これまでのロータリアン各位、そして各クラブのご協力を感謝いたします。有難うございました。



アジアの地区との 交換プログラム

地区GSE委員会

山名 善久
(札幌南RC)

今年度、地区GSE委員会は当地区では初めてアジア3830地区（フィリピン）へGSEチームを派遣しました。戸部チームリーダー以下5名のメンバーが3830地区を訪問し、国際親善・職業研修他全てに大きな成果をお土産に、3月29日元気に全員無事帰国しました。

後の財団学友帰国報告会で感動的な帰国報告をし、参加者全員大きな感銘を受けました。これも戸部チームリーダーの献身的な努力の賜物と思います。

今回のフィリピン3830地区との交換プログラムを終えて、一番の成果は両国の国際親善、相互理解促進だと考えます。特に日本とアジア諸国との過去の複雑な関係を考えると最も重要な事だと思います。

地区GSE委員会は、これからアジアの地区との交換プログラムを中心に事業を計画する事になっています。同じアジアの同胞として相互理解を促進させ、アジア地区の発展に互いに手を携えて協力しあい、寄与していかなければならないと考えます。

次年度もアジア（タイ）3350地区との交換プログラムが決定しています。皆様のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

最後に地区内会員の皆様、佐藤ガバナーと役員の皆様のご助力に心から感謝申し上げます。



役目を終えるに当たり

地区財団学友委員会

鍋谷 操子
(函館東RC)

財団奨学生、GSEメンバーが帰国されると財団学友として登録され、ロータリーの活動に協力することになっています。この学友による組織が「財団学友会」です。「財団学友会」が発足してから早くも3年が経過いたしました。

財団学友委員会は学友の存在意義を高めながら、「財団学友会」を支援し、クラブと学友の地区レベルでの協力意識を高める為に組織されています。

各クラブには「財団学友会」の賛助会員として、今年も資金のご支援・ご協力を頂き感謝を致しております。昨年11月に改訂版の学友名簿を皆さんのお手元に送付いたしました。その活用状況は如何でしょうか。クラブの活動資源として、学友を大いにご利用下されれば幸いで御座います。さて、今年5月の大阪で開催された国際大会では国際ロータリー会長経験者7人が参加された「財団学友セッション」が国際大会プログラムに組み込まれておりました。世界的なレベルで学友の重要さが認識されているゆえんだと考えておりますが、当地区でも「帰国学友報告会」を地区レベルで昨年に引き続いて、開催を致しました。関係者には多数のご参加を頂いたのですが、学友のスポンサークラブをはじめクラブからの参加が少なかったことが心残りです。私たちの委員会からのインフォメーションが十分に行き届かなかったこともその原因の1つですが、ガバナー補佐をはじめとする地区役員とロータリークラブに於ける「財団学友」への認識浸透の少なさを底上げするにはもう少し時間が必要なようです。

今後とも「財団学友」への理解とご支援を御願いたします。



補助金制度について

地区補助金委員会

伏木 忠了
(札幌西RC)

2003年～2004年度から新しい制度に変わりました。

ロータリー財団の人的補助金、プログラムの目的は、

人間として基本的なニーズに応えるために立案したプロジェクトを支持することで、クラブが人的補助金を申請、事業完了後、最終報告書を提出することに至る指導、援助が委員会の主な役割です。

佐藤ガバナー年度から新しい制度を積極的にPR致しました結果、年度前半には各クラブから10件の申請を受理審査致しました。

各クラブ共に変更有意義な事業に対し感謝申し上げます。尚、後半事業は1件承認され、残るプロジェクトは、遠藤ガバナー年度に引継ぎ、既に書類審査済みであります。

又、2004年～2005年度は12,000ドルが確定されておりますので、改めて各クラブにご案内いたします。一年間のご協力有難うございました。



インターアクター地区外との交流で友情を深める

地区インターアクト委員会

堀田 昌資
(札幌東RC)

2003年7月23日、第2820地区（茨城県）インターアクター29名を札幌ビール園に迎えて交流会・当地区インターアクター26名参加。全員ジンギスカンの味に大満足。

2003年8月3～5日、つくば市を訪ね、第2820地区インターアクターと合流して筑波宇宙センター見学・交流会実施。地区外インターアクターとの積極的な交流・情報交換はお互いに活動の活性化に役に立ちます。

2003年9月13～14日「RYLA」ジュニア・クラスへ参画。

2004年2月8日、第24回札幌国際スキーマラソンに18名が参加。

2004年6月19～20日、年次大会。真駒内ハイツ北海道青少年会館。佐藤秀雄ガバナーの出席をいただき、参加ロータリアン24名、インターアクター・顧問教師92名で実施された。

奥貫新世代委員長の心暖まる御指導のもと、一年間、青少年の奉仕活動と様々な交流行事など、インターアクターと一緒に活動する機会に恵まれ、高校生の尊いパワーと感激の出逢いを体験させていただき感謝を申し上げます。地区主導の行事の実施に当たっては、地区内10のスポンサークラブ・新世代・インターアクト委員会と連携を図ることに努めました。特に顧問教師の積極的な指導と学校側の理解と協力をいただけた事が、大きな要因となって、成果を上げることが出来ました。秋山委員、仲屋委員、佐藤委員、古野委員、光銭委員をはじめ、細川

ガバナー補佐（前委員長）には、適時にご意見をいただき、主要行事を実施することが出来ました。野澤青少年交換委員長、宮崎ライラ委員長、柳ローターアクト委員長の友情に感謝を申し上げる次第です。皆様ありがとうございました。



ご挨拶

地区ローターアクト委員会
柳 孝一
(札幌南RC)

ロータリークラブ同様、会員減少の問題を抱えながら、それぞれのクラブの活性化を例会や奉仕活動を通じて行うことを、いろいろな場面で呼びかけました。地区大会、地区協議会、地区セミナーの三大地区行事に海外研修、全国研修会、ローターアクト北海道交流会等の行事、また6回行われた会長・幹事会への出席と、地区委員会。

それぞれの実行委員会・ホストクラブが思考をこらし全ての行事が無事、成功に終わったことは、提唱ロータリークラブにも感謝するとともに、担当ホストローターアクトクラブに敬意を表します。

また、千歳RCと恵庭RCが千歳RACを共同提唱する事になり、6月4日第7グループ合同例会の場で、調印式を行ったことは、地区内で共同提唱という新しい形でローターアクトクラブに関わるロータリアンが増えることは、意義深いもので、将来に向け一つの方法を掲示した形になりました。両クラブの会員の皆さまに感謝申し上げます。

併せて地区委員の方々、提唱クラブのロータリアン、そして、地区内全ローターアクターに一年間の活動に対して感謝申し上げます。



思いをひとつに連なり合う

地区ライラ委員会
宮崎 善昭
(札幌西RC)

多くのロータリアン、顧問教師の皆様にささえられてプログラムを実施することができ感謝申し上げます。

今年度は「平和をつくり出す」をテーマとし様々な角度から平和について考えました。私たちは、戦争や紛争

のないことを平和であると考え、そのような自然状態がどこかに在るような錯覚に落ちています。しかし、今日平和の問題は貧困、差別、環境、経済、人権などのあらゆる側面を網羅して考えていかなければ実現しない時代であることの認識を深めなければなりません。

ワークショップを通して体験的に、あるいは講演を通して論理的にいろいろな角度から積極的に「平和をつくり出す」ためにどう行動しなければならないのかを考える機会となりました。

今年度からは、交換留学生もセミナーに加わることになりました。これからの新世代が社会で活躍する時代は国際的な観点を持ったリーダーシップが益々求められるようになり、活躍の場は多く用意されていると思います。

ボランティアな国際奉仕団体であるロータリークラブが新世代のリーダーシップに期待し、リーダーシップを学ぶ機会を準備していく活動は、今後とも地域社会のニーズとして大きく求め続けられていくと思います。喝采や脚光を浴びる活動ではなくとも一人一人の新世代が自覚を持って積極的に「平和をつくり出す」ために行動できることが、社会を新たなものにする原動力であると考えています。



1年間の活動から見えて きたもの、感じたこと

地区米山記念奨学委員会
竹原 巖
(札幌北RC)

この1年間の地区委員会活動を通じて奨学事業に対して見えてきたものは、昨今の会員減に伴う寄付金の減少傾向に歯止めがかからず、奨学事業の先行きに懸念を感じさせる状況になってきたことがあります。しかし、会員減に伴う寄付金全体額の減少だけでなく、一人当たりの平均寄付額も減少傾向にあります。

小林ガバナー年度に地区クラブ奉仕委員会が実施したアンケートによると、「米山奨学会への寄付」に対して①積極的な寄付は23%②お付き合いの寄付は47%また③経験なしが28%とあった。経験なしと回答した会員は比較的入会歴の浅い会員が多かったのは予測されることでしたが、ロータリー歴の長い会員にもまったく経験無しとの回答が多数あったことは奨学事業に対する広報活動の不足を実感させられました。奨学事業の関わりの中から、当該年度の会長・幹事また担当委員長

の熱意と取り組む姿勢により実績も大きく変化することを理解いたしました。

この事業はロータリー活動として日本固有のものであり、活動と広報を通じて会員の皆さんと感動を共有できるよう、次年度も積極的に続けていきたいと思っております。



委員会活動を終えて

地区米山学友委員会

見延 庄三郎

(小樽南RC)

米山学友会活動を支援する目的で新設された当委員会も2年目を終えた。1年目は学友との面識もなく、活動内容も手さぐり感覚であったが、2年目は焦点も定まり、前年より一歩踏みこんだ活動が出来たように思う。

第1に米山学友会名簿の補追と確認作業だが、学友(北海道在住者)名簿と、道内全クラブ毎の元米山奨学生全員の名簿の二種類作成した。住所や職場等の変更事項の把握は十分ではないが、更に正確を期していく。

第2に恒例のライラセミナーには5名登録、3名の発表者を推薦し、夫々個性的発表を行った。

第3に今年度定時総会とその後の忘年懇親会は昨年12月に札幌ロイヤルホテルで、学友・ロータリアン27名の参加で開催し友情と懇親を深めた。この懇親会の席上、室蘭在住の学友2名から、「来年春の米山学友・家族懇親会は室蘭地区でやろう」との積極提案があり、一同拍手で承認された。

第4に、その家族懇親会だが、約束通り今年6月5～6日一泊で登別グランドホテルで提案者の学友2名が中心となり、室蘭東ロータリークラブを始め、第9グループ挙げての支援により盛大に開催された。参加者は総勢55名で、単なる飲み食いにとどまらず内容の充実した素晴らしい親睦交流会となった。(詳しい内容は別に月信掲載予定なので此处では省略する。)

最後に、第4号目となる「米山学友会(北海道)だより」、つまり会報だが、6月中旬に発行予定のところ、目玉の家族懇親会の開催が1ヶ月ずれた関係から6月には間に合わなかった。7月末迄に発行したい。

米山記念奨学事業の本来の目的である真の国際交流と親善を図れるのは米山奨学生と学友によってこそ実現可能であるとの信念をもって、しっかり3年目に臨みたい。



年度終了のご挨拶

地区広報委員会

丸山 淳士

(札幌真駒内RC)

前城木委員長の後を引き継ぎ、委員長を務めさせて頂きましたが、大きな活動も出来ずに終わってしまいました。

委員の皆様には大変お世話になりました。マスコミ関係との接触がなかなか難しく、留学生や奨学生などの国際関係の奉仕活動が比較的理解されやすいと思われ、この辺りを突破口として接触を図ろうと思いましたが、実現に至りませんでした。

ロータリアン各人が、広報マンであることを自覚することの一材料として、各クラブでの卓話用の資料を作成致しました。

会員増強の点からも、好ましい広報はいま以上に必要な時代になっております。

小さな行事であっても、地元の公報やいろんな機関誌などに取り上げて頂く地道な努力も必要かと痛感致しました。

1年間どうも有り難うございました。



ロータリークラブと ロータリアン

地区情報委員会

亀井 敏清

(函館RC)

4期4年に亘る地区情報委員長の任を解かれ振り返って見る時、地区内クラブ、又会員の皆様にどれほどのお役に立ったのかと、忸怩たるものがあります。毎年毎の委員会活動計画にはクラブ情報委員に対して地区委員会がいかに情報提供するかに重点をおいておりますが、ロータリーの無数の情報を正確に伝えることは不可能でありますし、一方的に各種情報を発信したとしてもクラブなり会員が本当に必要としているのかと疑問に持つとすらしばしばありました。しかしそんな中でも多くの質問が寄せられたのも事実です。

特に2001年の規定審議会で採択された制定案はロータリーの根本理念を脅かすのではという改定もあり、クラブ運営にあたっての規定の解釈をQ&A方式で月信を通

して発信しました。又委員長就任期間中に多くのクラブからロータリー情報の卓話又は勉強会に招かれましたがその殆どは規定、規則ではなくロータリーとは又ロータリーの組織とは又、ロータリーの歴史を背景とした移り変わりを主題として我々ロータリークラブの会員としての自覚を訴えて来ました。あるクラブの会員に尋ねました。「貴方のクラブで一番自慢できるものはなんですか」即座に「うちのクラブには煩せいで父親が何人もいることだ」私も常に思っております。どんな小さな間違いでも早く気付き是正しなければ特に1年周期のクラブ運営は捻れはじめ長い間にロータリーの目的の方向さえ失ってしまいます。広大無辺のロータリーの世界でもロータリアンの住む家はたった一つのクラブです。清潔で楽しく家事万端整ってれば多くの人が訪れます。そして家族も増えるでしょう。新しい年度を迎えるにあたり一言。春がきたとて、花が咲くとて、蝶が舞うとて、浮かれたら、裏の畑は草ぼうぼう。

「クラブこそ我が住家です」



大きく動き出した地区のIC

地区IC委員会

山田 信夫
(苫小牧北RC)

今年度、佐藤秀雄ガバナー自らIC（インターネット・コミュニケーション）を積極的に推進されたことで、地区内クラブのEメールアドレスの取得や、クラブホームページの新設、および2510メールマガジンの配信数も飛躍的に増え、まさにIC元年と言える年度でした。

2510メールマガジンの配信数は、期首352件から約22%増の429件まで伸び、間接配信を含めると推定560件を超えるに到りました。そして、単にメールアドレスを取得しメールマガジンを受け取るだけに留まらず、各種報告、情報交換などに電子メールを積極的に使い、その経済性、迅速性、便利性などを実感している方が増えています。この1年間の地区内会員の方からのEメールは570件を超え、前年度比74%増と飛躍的に伸び、負荷増大によるシステムダウンに直面する危機もあり、うれしい悲鳴をあげた時期もありました。

また、Eメールで簡単に双方向の情報交換を可能にす

るメーリングリストも開設しましたが、発言が少なく、今一つ盛り上がり欠けたことは残念でしたが、今後改善に努めたいと思います。

インターネットは万能ではありませんが、その可能性は更に大きく進化しています。従前の電話、FAX、郵便などと共に情報交換ツールとして認知された現在、その効果をさらに実感していただけますよう積極的に活用していただきたいと思います。

最後に、活動報告などの寄稿およびガバナー公式訪問や大阪国際大会の写真の提供など多くの方にご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

終了挨拶

地区ロータリーの友委員会

佐藤 公
(札幌北RC)



ロータリーの友委員会は2年前（小林年度）に「雑誌委員会」として新設されましたが、すぐ「ロータリーの友委員会」に改称され、今年度は2年目を迎えました。

当委員会の活動趣旨は『一人でも多くの会員に友誌を読んでいただくための半永久的なアプローチ』です。

その具体的な活動方針として

- ①地区内の雑誌（ロータリーの友）委員長および会員との意志疎通、親睦を図り委員会活動の促進を支援する
 - ②機関誌「ロータリーの友」に対する会員の意見、要望を広く吸収し、ロータリーの友事務所へフィードバックする→友誌編集への提案
 - ③会員に友誌への投稿を呼びかける
 - ④4月の雑誌月間を中心に、地域雑誌の購読の活用促進に役立つプログラムを実施していただくために、委員はできるだけクラブからスピーチ（卓話）の要請を受ける
 - ⑤ロータリーの友事務所（東京）で発行しているロータリーの友出版物（ロータリー手帳、会員名簿など）、『友』ホームページのPR、利用促進に努める
 - ⑥地区内雑誌委員会の名称を「ロータリーの友委員会」に改称を推奨し、近い内に統一を図る（一部を除く）
- *なお、ロータリーの友地区委員（当委員会委員長）は、地区ガバナーに任命された『ロータリーの友』に

関する地区の代表者です。

そして、1年間の総活動集として「ロータリーの友委員会年報（2003-2004）」を発行できましたことを嬉しく思います。

最後に、佐藤ガバナーから有意義なご助言とご協力、さらに地区幹事の皆様には何かとお世話になり感謝申し上げます。

また、各委員の皆様にも有意義な活動をしていただき感謝申し上げます。



WCS活動について

地区世界社会奉仕委員会

土倉 裕之
(札幌東RC)

今期の活動は、各クラブの独自プロジェクトが充実してきたことが特筆できます。従来でしたら地区委員会で企画したプロジェクトに参加していただくという活動でしたが、今期は特に各クラブでのプロジェクトが目白押しでした。インドネシアへの図書館支援・車椅子基金への参加・スリランカへの中古自転車、オルガン、中古ベッド、医療機器寄贈・トルコへのマッチンググラント等々の有意義なプロジェクトが実施されました。またクラブ周年事業として企画されたプロジェクトも増えてきました。

今後も各クラブでの自主的な意義あるプロジェクトがますます強化されますよう期待しております。



新世代委員会への御支援深謝します

地区新世代委員会

奥貫 一之
(札幌東RC)

新世代委員会をジャンボ機に例えると4基のエンジンに当たる4つの小委員会が推進役になりますが、3人の新任委員長、1人の2年目の委員長という体制で離陸いたしました。順調な飛行が期待されましたが、内1基のエンジンにトラブルが発生し、気をもみましたが地上管制官（ガバナー）からの適切なアドバイスで地区大会当日を境に安定した飛行が出来る様になり、無事目的地に

着陸出来たのは嬉しい限りです。

佐藤ガバナーは、にこやかな笑顔と、誰の話にも耳を傾ける姿勢でゆっくりと時間をかけ、前年度からの懸案を見事解決されました。ライラセミナーの時には自ら、スキーヤーズベットの部屋にスタッフのロータリアン諸氏と起居を共にされ、夜は車座でロータリー講義に花が咲く交わりの中心に座って語り合っていました。新世代の行事には皆出席して下さい、私達はいつも明るい笑顔に力づけられました。私自身も佐藤ガバナーに御指導いただいたこの1年をとっても貴重なひとときだったと実感しており、感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。



1年を振り返って

地区青少年交換委員会

野澤 幸平
(岩内RC)

第2510地区ロータリアン、地区委員、各ロータリークラブの関係委員会、ホストファミリー、ホスト高校、日本語講師の皆様方のご協力、そして何よりも佐藤秀雄ガバナー、奥貫一之地区新世代委員長の素晴らしい英知とご経験に助けられた事。

また、海外から5100地区の伊藤克己青少年交換委員長のうれしい来日など、すべての方々に心より感謝申し上げます。

昨年6月に選考合格した派遣生がこの1年間研修に研修を重ね、英会話の先生と日常会話を学び、留学先での対応や旅行手続き、マナー、ホストファミリーとの過ごし方などをシミュレーションし、それぞれの大专及以上学历を抱いてこの7、8月に旅立ちます。

また1年間の派遣生活を終えた子供たちが帰国しております。涙あり、笑いあり、最初はホームシックにおちいったりとしかし、たくましく国際感覚豊かになって笑顔を見せてくれております。これから、彼らが日本に世界を広めてくれることと思います。

社会への奉仕、ロータリーの“心”をいつか、どこかで彼らはその種を蒔いてくれる事を期待しながら、ロータリーと共に歩いて行けるROTEXに思いを寄せてこの1年の結びとさせていただきます。

1年間、大変お世話になりました。

地区家庭奉仕委員会報告

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

本日、当委員会のカウンセラーである小林博PGをお迎えし、新旧家庭奉仕委員全員参加で委員会を開催しました。その結果を報告します。

参加委員：大場公孝（上磯RC）高下泰三（札幌西RC）水野正純（新札幌RC）長谷川美栄子（札幌大通公園RC）松本純枝（深川RC）太田すみ子（札幌北RC）

1. 本年度の活動報告

1. 勉強会

相場先生に、平成16年3月20日に児童虐待を繰り返す親をどのように立ち直らせるか、多年にわたるカウンセリングの経験によって得た情報を基に貴重な勉強をしました。

内容は、実践に基づく素晴らしいお話であり、特に誰でも児童虐待の可能性があり、その境界はないという点は、印象的であったし、私共に出来ることは、一言でも良いから、育児に悩む母親を孤立させることなく声をかけて、社会の中で生かされていることを認識させることではないか。卓話等の機会に是非先生を活用下さい。

2. 各クラブ活動の状況を月信に報告し、各位委員が、各クラブでプログラムを実施する。

月信報告

札幌手稲、西北、西、あけぼの4クラブ合同親睦夜間例会。“家庭奉仕って？”について、など3回行いました。次年度は委員全員が心がけることにしました。

所属クラブでの活動

それぞれフォーラム又は卓話を、各クラブにおいて企画又は実践した。

3. IMのビデオについては、苫小牧北RCが一度活用しました。素晴らしいビデオなので、宣伝をもう少しすべきではなかったか。

4. 親業の初級コースについては残念ながら、実行したクラブはなかった。親業という特別な活動について、各クラブで、直ぐ実施できる条件になかったことを反省し、より実施しやすいプログラムから提唱していくのが現実的ではないかという反省

でした。

5. 社会奉仕連絡会への出席は、委員が分担して出席したが、あまり効果は期待できなかった。

6. 地区内の家庭奉仕に関する事業

①9月13日：公開シンポジウム“家庭”って何だ!?!コーディネーター和田、パネラーに当地区のロータリアンである米山道男（札幌北RC）池上公介（札幌モーニングRC）が参加。資料がたくさんあるので、欲しい方は和田のところにご連絡下さい。（電話011-281-0909、FAX011-271-4335）

②11月29日：札幌東RC主催公開講演会“育てよう子供たちの心”

参加者に一般の子育て中の両親が多く、講演内容も質の高いすばらしい会であった。

③2月11日：江差RC主催公開シンポジウム“今親として子として”心をつなぐコミュニケーション—家族は分かり合える。

本年度の当地区内の各クラブの事業としては、最高の事業であり、参加者も一般の町民の方が多く、内容も充実したものであり、準備に当たった、松原富朗社会奉仕委員長には、敬意を表します。

7. ガバナー月信を通じての啓蒙活動

家庭奉仕について思う（6月号）、4クラブ合同例会に参加して（6月号）、相場先生の講演会の報告を通じて（5月号）、世界大会に参加して（最終号）の4回委員長が実施しましたが、他の委員も分担すべきでした。

8. 家庭奉仕活動並びに家族奉仕に関するアンケート調査の実施

各クラブとも家族奉仕と家庭奉仕を混同されている感が強くいたしました。少なくとも家族を交えてのプログラムも家庭奉仕の一部であるから、もっとたくさんのプログラムに家族を巻き込んで参加させるよう働きかけることにしました。

9. 委員会の開催は、今回を含めて年3回。

2. 活動計画

1. 社会奉仕連絡会へは、委員が分担して参加して、家庭奉仕の緊急性について訴えることにしました。
2. ワークショップが効果的であるので、各クラブ又は、各グループに開催を働きかける。

テーマを具体的に提案したらどうか。

例えば

- ①私の今朝した妻への一言、私の今朝した家庭奉仕
 - ②私の日頃心がけている家庭奉仕、私のしている家庭奉仕
 - ③家庭は密室で良いのか、社会に解放されるべきか。など10項目の提案がありました。
3. 各クラブで実施していただきたいプログラム
 1. フォーラムの開催：テーマは、ワークショップ

プで例示したような話題提起で良い。

2. 卓話、1分間スピーチなど会員が、各自の一寸した家庭奉仕について披露することが大事である。テーマは、上記の①、②などで良いのではないか。
4. インフォーマルミーティング：家庭奉仕は、共通の話題として、会員の理解を深めるのに格好のテーマではないでしょうか。

懇親会に、ガバナーノミニーにもご参加いただき、家庭奉仕が各クラブに浸透していない。今なぜロータリーで家庭奉仕かという素朴な疑問があるという素直な意見を伺いました。

わが国の家庭が、私共が気づかない間に、異常な状態になっていることを、客観的なデータを下に理解していただく必要性を痛感しました。

国際大会に参加して

1. RI会長のお話

初めてロータリーの国際大会に参加して、感動することばかりでした。特にマジアベRI会長のスピーチは、示唆に富むものでした。会長は、ロータリーの活動を四季に喩えて話されました。

夏は活動のとき、秋は美しく成果が実るとき、冬は静かに活動を反省するとき、春はその反省を元に新たな計画を立てるときである。

注目すべきは、会長は、四季は、毎年何時訪れるか気が付かないうちに、必ず巡ってくる。とロータリーは、年度毎の活動ではあるが、前年度の活動の反省や総括は、新たな年度の活動の基礎となることを指摘されたのです。

2. 養老孟司の死の壁

私は会長の話をお聞きしたとき養老孟司さんの“死の壁”（新潮新書）を連想しました。彼は、人間は、毎日睡眠をとることによって、意識が途絶え、記憶してはいても朝目覚めたときには、昨日の存在とは別の存在になっていると繰り返し述べています。

マジアベ会長の話と結びつけると私たちは、短期的には、毎日、朝起きてから夜眠りに付くまでの間に、計画を立て、実行し、成果を得て、反省するという行為を繰り返している。ということになるのでしょうか。

3. 家庭の問題

夫婦の問題に立ち戻ると、私たちは、結婚して以来毎日、この過程を繰り返しているうちに何時の間にか、互いに空気のような存在に変わってしまったと思われま。

ということは、私たちは、実際には、十分な家庭経営をして来なかったという事になるのかもしれない。もし毎日、昨日の家庭経営について反省し、新たな計画を立て実行して来たならば、益々家族が、特別な存在として、結びつきを強め、決して空気のような存在にはならなかったのではないのでしょうか。

子育ての問題に詳しい児童精神医師である佐々木正美先生は、“続子供へのまなざし”という本の中で、家族の問題は、何時でもやり直しが効くと述べているので、私たちは、これからでも家庭の経営について、日々計画を立て、実行し、反省することは、可能であると思われま。

家庭で先ずこの訓練をしていれば、家庭が豊かで幸せになることは当然ですが、事業や職務を遂行する上でも大いに役立つことになると思われま。

外にもたくさんのごことを経験しましたが、家庭奉仕に関連して報告いたします。

地区子ども奉仕委員会報告

地区子ども奉仕委員会

委員長 米 山 道 男 (札幌北RC)

本委員会の活動状況についてはガバナー月信第10号(4月号)に報告しましたが、それ以降の状況を報告します。

1. 第4回委員会および学校関係者・授業経験者・地区委員合同懇談会の開催(04年5月8日、ホテルライフオート札幌、23名参加)

参加者は、学校関係者7名、授業経験者6名、地区委員10名。始めに委員会、引き続いて合同懇談会を開催しました。委員は1名の交替を除いて全員留任なので、その1名の次期委員も出席。委員会では、(1)協力会員登録状況と登録促進、(2)協力会員名簿の体裁・記載内容と作成日程、(3)次年度活動方針などを話し合いました。合同懇談会では、学校の先生方や授業を経験した会員から貴重な御意見をいただきました。

2. 第3回全国青少年育成委員会議(04年6月3日、高輪プリンスホテル、27名参加)

昨年度、前川昭一ガバナー会議長(当時)が「ロータリアンはもっと小中学校の教育に関わろう」と提唱して、各地区にそれを担当する地区委員会ができました。本委員会もその1つと言えます。このような委員会間の情報交換のために全国会議が昨年度から年3回(10月、2月、6月)開催されています。各地区の状況は、既に名簿も完成し実績を積んでいる地区からほとんど活動していない地区まで様々です。名簿作成に一苦労、それを利用してもらうのにまた苦労と、各地区とも悩みは大きいようです。

3. 協力会員名簿の登録および作成状況

6月1日現在、協力会員登録者は24クラブから授業協力会員が133名、職業体験協力会員が85名、合計218名です。それぞれ総会員数の4%、3%に相当します。登録会員数を少しでも多くと考え、今まで名簿発行を延ばしてきました。登録は今後

も引き続き会員にお願い致しますが、年度で一区切り付けるために現在発行準備中です。

4. 各クラブにおける対応委員会について

各クラブにおかれましては、敢えて子ども奉仕委員会を新設する必要はなく、既存の社会奉仕委員会が対応していただければと思います。クラブによっては、職業奉仕委員会や新世代委員会が担当される場合もあるでしょう。



第4回委員会および学校関係者・授業経験者・地区委員合同懇談会
(04年5月8日、ホテルライフオート札幌にて)



第3回全国青少年育成委員会議
(04年6月3日、高輪プリンスホテルにて)

(財)ロータリー米山記念奨学会寄付金明細

(2004年6月30日現在)

2004年6月30日現在の地区内クラブ別米山記念奨学会寄付状況をお知らせ致します。

1年間ご協力誠にありがとうございました。

(単位：円)

グループ	クラブ名	普通寄付金	特別寄付金	合計	グループ	クラブ名	普通寄付金	特別寄付金	合計
1	深川	126,000	790,000	916,000	7	千歳	142,000	267,300	409,300
	羽幌	94,000	120,000	214,000		千歳セントラル	61,000	70,000	131,000
	妹背牛	40,000	0	40,000		恵庭	150,000	400,000	550,000
	小平	48,000	0	48,000		北広島	33,000	0	33,000
	留萌	192,000	200,000	392,000		長沼	72,000	120,000	192,000
	計	500,000	1,110,000	1,610,000		由仁	73,600	200,000	273,600
2	赤平	70,000	0	70,000	計	531,600	1,057,300	1,588,900	
	芦別	226,000	100,000	326,000	えりも	96,000	0	96,000	
	砂川	165,000	490,000	655,000	三石	72,000	0	72,000	
	滝川	436,000	660,000	1,096,000	様似	58,500	0	58,500	
	計	897,000	1,250,000	2,147,000	静内	138,000	600,000	738,000	
3	美唄	136,500	410,000	546,500	浦河	124,500	80,000	204,500	
	江別	184,000	60,000	244,000	計	489,000	680,000	1,169,000	
	江別西	80,000	120,000	200,000	伊達	169,500	300,000	469,500	
	岩見沢	199,000	930,000	1,129,000	室蘭	220,000	600,000	820,000	
	岩見沢東	70,000	100,000	170,000	室蘭東	199,500	390,000	589,500	
	栗沢	96,000	180,000	276,000	室蘭北	115,500	10,000	125,500	
	栗山	96,000	0	96,000	登別	158,000	110,000	268,000	
	当別	121,500	0	121,500	洞爺湖	24,000	0	24,000	
計	983,000	1,800,000	2,783,000	計	886,500	1,410,000	2,296,500		
4	札幌幌	358,500	295,000	653,500	函館	306,000	509,287	815,287	
	札幌あけぼの	70,000	160,000	230,000	函館亀田	94,000	389,146	483,146	
	札幌はまなす	88,500	85,000	173,500	森	96,000	0	96,000	
	札幌幌北	166,500	1,100,890	1,267,390	七飯	87,000	0	87,000	
	札幌モーニング	240,000	249,500	489,500	長万部	36,000	0	36,000	
	札幌幌西	225,000	329,341	554,341	計	619,000	898,433	1,517,433	
	札幌幌西北	148,500	400,000	548,500	江差	36,000	0	36,000	
	札幌手稲	172,000	608,000	780,000	函館五稜郭	134,000	1,666,880	1,800,880	
計	1,469,000	3,227,731	4,696,731	函館東	177,000	640,000	817,000		
5	札幌東	364,500	1,300,000	1,664,500	函館北	82,000	358,100	440,100	
	札幌清田	85,500	160,000	245,500	上磯	68,000	0	68,000	
	札幌幌南	234,000	1,025,000	1,259,000	松前	9,000	0	9,000	
	札幌真駒内	136,500	1,030,000	1,166,500	計	506,000	2,664,980	3,170,980	
	札幌南	368,000	900,000	1,268,000	白老	65,000	180,000	245,000	
	札幌大通公園	60,400	0	60,400	苫小牧	184,500	200,000	384,500	
	札幌セントラル	133,000	100,000	233,000	苫小牧東	30,000	489,462	519,462	
	新札幌	108,000	480,000	588,000	苫小牧北	192,000	849,740	1,041,740	
	計	1,489,900	4,995,000	6,484,900	計	471,500	1,719,202	2,190,702	
6	岩内	105,000	60,000	165,000	地区内クラブ合計	9,772,000	21,402,646	31,174,646	
	倶知安	114,000	0	114,000	その他	0	0	0	
	小樽	261,000	100,000	361,000	合計	9,772,000	21,402,646	31,174,646	
	小樽南	170,000	210,000	380,000	苫小牧東 R C	前年度普通寄付金 ¥ 34,000返金 今年度実績 ¥ 64,000			
	小樽銭函	44,000	0	44,000					
	蘭越	30,000	0	30,000					
	余市	205,500	220,000	425,500					
	計	929,500	590,000	1,519,500					

親睦活動委員会ニュース

JGFR北海道大会が6月14日（月）札幌ゴルフ倶楽部（輪厚コース）にて全国16地区70名のロータリアン及びご家族が参加され開催されました。

大会成績は下記のとおりです。

第14回JGFR北海道大会成績表

(敬称略)

	男性部門					女性部門				
	氏名	所属RC	グロス	HC	NET	氏名	所属RC	グロス	HC	NET
優勝	今井賢二郎	大阪城南	83	12.0	71.0	田中公子	総社	101	26.4	74.6
準優勝	新井清	吹田西	81	9.6	71.4	枝吉真喜子	佐賀西	98	22.8	75.2
3位	日野岡信太郎	茨木	89	16.8	72.2	佐伯信子	総社	103	26.4	76.6
4位	半田純一	宇都宮西	82	9.6	72.4	磯賀稔子	宇都宮西	110	32.4	77.6
5位	佐々木則秋	札幌真駒内	86	13.2	72.8	内田久子	吹田江坂	103	24.0	79.0
6位	坂手知博	津山西	86	13.2	72.8					
7位	佐伯友偵	総社	92	19.2	72.8					
8位	円田稔	佐賀西	92	19.2	72.8					
9位	枝吉順佑	佐賀西	89	15.6	73.4					
10位	瀬川俊男	新札幌	87	13.2	73.8					

グロス賞

男性部門

- 1位 新井清 (吹田) 81
- 2位 半田純一 (宇都宮西) 82
- 3位 今井賢二郎 (大阪城南) 83

女性部門

- 1位 枝吉真喜子 (佐賀西) 98

ベストペア賞

- 1位 枝吉順佑・枝吉真喜子 (佐賀西) 73.4 75.2 148.6
- 2位 佐伯友偵・佐伯信子 (総社) 72.8 76.6 149.4
- 3位 半田純一・磯賀稔子 (宇都宮西) 72.4 77.6 150.0

ネット

祝 新入会員のご紹介

岩見沢東RC



只野 公幸 会員
平成16年5月11日入会

岩見沢RC



辰己 伸明 会員
平成16年5月21日入会

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

大口寄付者

千歳 R C 佐藤 秀雄 会員 5月28日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

当別 R C 内海 英徳 会員 5月28日
 千葉 一男 会員 5月28日
 竹田 和雄 会員 5月28日
 神田 光男 会員 5月28日
 辻野 修 会員 5月28日
 武田 昭龍 会員 5月28日
 安藤 正 会員 5月28日
 米口 稔 会員 5月28日
 札幌北 R C 岩崎 輝明 会員 5月12日
 札幌西 R C 伏木 忠了 会員 6月30日 2回目
 札幌手稲 R C 針谷 龍宜 会員 5月28日 5回目
 新札幌 R C 清水 昭子 会員 1月30日 (認証漏れ)
 小樽 R C 高田 義人 会員 5月31日 2回目
 長沼 R C 清水 慧子 会員 5月14日 3回目
 室蘭北 R C 斉藤 義寛 会員 5月31日 2回目
 函館 R C 中村 壮一 会員 5月28日
 石田 勉 会員 6月18日
 函館東 R C 菅原 憲夫 会員 5月14日 3回目

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東 R C 長田 正文 会員 6月25日
 札幌あけぼの R C 染谷 重雄 会員 6月25日
 札幌北 R C 井上 勝一 会員 5月12日
 札幌西 R C 伏木 慶子 さん
 (伏木忠了会員夫人)
 宮越 陽一 会員 5月28日
 札幌西北 R C 中嶋 成実 会員 5月28日
 札幌清田 R C 柏倉 慎 会員 4月9日 (認証漏れ)
 真鍋 昌市 会員 4月9日 (認証漏れ)
 札幌セントラル R C 上野 了 会員 5月28日
 小樽南 R C 小林 英夫 会員 5月28日
 竹田 榮治 会員 5月28日
 千歳 R C 村上 倫行 会員 6月18日
 長沼 R C 久保 敏雄 会員 5月31日
 由仁 R C 川合 俊雄 会員 5月28日
 室蘭東 R C 有賀 和雄 会員 5月31日
 森田 邦義 会員 5月31日
 佐々木 健治 会員 5月31日
 鈴木 久雄 会員 5月31日
 七飯 R C 山内 一男 会員 5月21日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川 R C	竹田 俊一	会員	6月25日
江別西 R C	服部 渉	会員	5月12日
	石黒 良平	会員	6月16日
岩見沢 R C	倉増 昭一	会員	6月24日 第3回
	加地 浩	会員	6月24日
札幌あけぼの R C	蓑輪 眞智子	会員	6月25日
札幌西 R C	河邨 文一郎	会員	6月30日 第7回
	岡本 繁美	会員	6月30日
札幌手稲 R C	中村 和雄	会員	6月22日
札幌東 R C	奥村 義夫	会員	6月29日 第3回
札幌幌南 R C	森 正志	会員	6月10日
札幌南 R C	斎藤 元護	会員	6月18日 第10回
			(メジャードナー)
岩内 R C	伊藤 正敏	会員	5月28日 第2回
余市 R C	山田 昭恵	会員	6月30日
函館 R C	国立 金助	会員	5月20日 第2回
函館五稜郭 R C	當摩 浩平	会員	6月21日
函館東 R C	五十嵐 稔	会員	5月12日
	小野 孝良	会員	5月18日
	菅原 憲夫	会員	5月12日 第7回
	宮崎 裕之	会員	6月1日 第2回
	古田 清一	会員	6月29日
苫小牧東 R C	青木 孝吉	会員	6月23日
	木村 修	会員	6月23日 第2回
	斉藤 英明	会員	6月23日

米山功労クラブ

由仁 R C	5月27日
岩見沢 R C	6月24日
札幌南 R C	6月18日
新札幌 R C	6月28日
余市 R C	6月30日
函館亀田 R C	6月14日
函館五稜郭 R C	6月21日
苫小牧東 R C	6月23日

5月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.5.31	増減	内女性	
1	深川	3	43	42	-1	2	88.03
	羽幌	4	47	47	0	1	84.96
	妹背牛	3	10	10	0	0	93.00
	小平	4	16	16	0	0	75.00
	留萌	3	64	63	-1	0	91.36
	小計		180	178	-2	3	86.47
2	赤平	2	35	36	1	2	82.55
	芦別	4	58	54	-4	0	89.50
	砂川	3	55	55	0	0	94.34
	滝川	3	109	107	-2	2	74.00
小計		257	252	-5	4	85.10	
3	美幌	3	47	43	-4	0	90.59
	江別	3	46	45	-1	1	89.14
	江別西	3	40	37	-3	3	96.29
	岩見沢	4	100	101	1	0	90.56
	岩見沢東	2	34	37	3	3	91.15
	栗沢	3	33	31	-2	2	92.47
	栗山	3	32	31	-1	2	96.67
	当別	3	42	39	-3	1	84.17
	小計		374	364	-10	12	91.38
4	札幌	3	113	127	14	0	98.19
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	27	-3	5	68.87
	札幌北	3	54	52	-2	5	93.47
	札幌モーニング	3	60	60	0	0	78.53
	札幌西	3	74	74	0	3	90.62
	札幌西北	3	50	49	-1	2	94.05
	札幌手稲	4	44	42	-2	1	100.00
	小計		443	447	4	17	90.47
5	札幌東	3	118	126	8	0	98.88
	札幌清田	3	29	27	-2	5	100.00
	札幌幌南	4	81	73	-8	0	99.30
	札幌真駒内	3	46	47	1	2	88.92
	札幌南	3	90	94	4	0	97.62
	札幌大通公園	4	19	21	2	4	68.69
	札幌セントラル	2	19	19	0	6	69.40
	新札幌	3	36	36	0	1	93.48
	小計		438	443	5	18	89.54
6	岩内	3	35	35	0	0	77.01
	倶知安	3	57	57	0	4	88.34
	小樽	3	88	84	-4	0	80.66
	小樽南	4	86	86	0	0	92.72
	小樽銭函	4	22	23	1	3	81.52
	蘭越	3	15	15	0	0	82.22
	余市	3	46	43	-3	4	82.00
	小計		349	343	-6	11	83.50

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,279人 (99人)
増加会員数	-25人
当月平均出席率	84.77%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.5.31	増減	内女性	
7	千歳	3	72	69	-3	2	82.90
	千歳セントラル	2	31	30	-1	0	80.00
	恵庭	3	50	51	1	0	82.63
	北広島	4	15	20	5	2	87.03
	長沼	3	17	19	2	4	88.60
	由仁	4	16	16	0	0	73.44
	小計		201	205	4	8	82.43
8	えりも	4	23	25	2	0	77.00
	三石	3	18	18	0	1	90.70
	様似	2	20	19	-1	2	86.90
	静内	3	68	70	2	0	80.88
	浦河	3	42	43	1	1	82.95
	小計		171	175	4	4	83.69
9	伊達	3	55	57	2	0	76.26
	室蘭	3	56	55	-1	0	90.12
	室蘭東	3	48	48	0	0	86.30
	室蘭北	3	39	37	-2	2	77.48
	登別	3	39	40	1	2	82.50
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	81.80
	小計		249	248	-1	4	82.41
	10	函館	3	101	100	-1	0
函館亀田		3	47	46	-1	1	79.71
森		4	48	46	-2	0	80.00
七飯		4	29	29	0	0	71.00
長万部		3	12	13	1	0	84.60
小計		237	234	-3	1	77.59	
11	江差	3	21	18	-3	0	80.00
	函館五稜郭	4	64	70	6	0	85.66
	函館東	3	60	58	-2	6	78.79
	函館北	2	43	37	-6	0	84.73
	上磯	3	33	30	-3	3	51.70
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		230	222	-8	10	74.59	
12	白老	3	32	33	1	2	76.50
	苫小牧	4	61	58	-3	0	77.33
	苫小牧東	3	33	32	-1	3	92.71
	苫小牧北	2	49	45	-4	2	85.90
	小計		175	168	-7	7	83.11
合計		3,304	3,279	-25	99	84.77	

6月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.6.30	増減	内女性	
1	深川	3	43	40	-3	1	84.97
	羽幌	4	47	47	0	1	79.49
	妹背牛	4	10	10	0	0	87.00
	小平	4	16	14	-2	0	68.33
	留萌	5	64	59	-5	0	88.89
	小計		180	170	-10	2	81.74
2	赤平	5	35	34	-1	2	90.30
	芦別	4	58	54	-4	0	91.33
	砂川	4	55	55	0	0	93.87
	滝川	3	109	105	-4	2	77.00
	小計		257	248	-9	4	88.13
3	美幌	4	47	42	-5	0	94.23
	江別	4	46	43	-3	1	86.62
	江別西	5	40	37	-3	3	92.32
	岩見沢	4	100	95	-5	0	92.10
	岩見沢東	5	34	37	3	3	88.84
	栗沢	5	33	31	-2	2	94.19
	栗山	4	32	31	-1	2	91.07
	当別	5	42	38	-4	1	81.03
		小計		374	354	-20	12
4	札幌	5	113	123	10	0	97.78
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	5	30	24	-6	4	77.02
	札幌北	3	54	52	-2	5	91.50
	札幌モーニング	5	60	54	-6	0	70.88
	札幌西	4	74	74	0	3	90.12
	札幌西北	4	50	48	-2	2	91.82
	札幌手稲	4	44	39	-5	1	98.81
	小計		443	430	-13	16	89.74
5	札幌東	4	118	125	7	0	98.95
	札幌清田	4	29	27	-2	5	100.00
	札幌幌南	4	81	69	-12	0	99.64
	札幌真駒内	5	46	44	-2	2	96.26
	札幌南	4	90	91	1	0	92.21
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	77.78
	札幌セントラル	5	19	19	0	6	74.40
	新札幌	4	36	36	0	1	91.38
	小計		438	430	-8	18	91.33
6	岩内	4	35	34	-1	0	80.36
	倶知安	5	57	57	0	4	88.26
	小樽	4	88	73	-15	0	85.77
	小樽南	4	86	86	0	0	89.43
	小樽銭函	4	22	23	1	3	81.52
	蘭越	5	15	15	0	0	84.00
	余市	5	46	43	-3	4	87.80
	小計		349	331	-18	11	85.31

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,172人 (95人)
増加会員数	-132人
当月平均出席率	85.84%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.6.30	増減	内女性	
7	千歳	4	72	65	-7	2	81.70
	千歳セントラル	5	31	30	-1	0	84.70
	恵庭	5	50	51	1	0	82.08
	北広島	4	15	19	4	2	88.89
	長沼	4	17	19	2	4	95.80
	由仁	4	16	15	-1	0	82.81
	小計		201	199	-2	8	86.00
8	えりも	4	23	25	2	0	80.00
	三石	4	18	18	0	1	91.60
	様似	5	20	19	-1	2	74.70
	静内	5	68	70	2	0	76.76
	浦河	5	42	44	2	1	88.74
		小計		171	176	5	4
9	伊達	4	55	56	1	0	78.26
	室蘭	4	56	55	-1	0	100.00
	室蘭東	4	48	43	-5	0	89.88
	室蘭北	5	39	37	-2	2	100.00
	登別	5	39	40	1	2	82.50
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	100.00
		小計		249	242	-7	4
10	函館	4	101	99	-2	0	75.32
	函館亀田	4	47	42	-5	1	79.65
	森	4	48	46	-2	0	80.00
	七飯	5	29	24	-5	0	67.00
	長万部	4	12	13	1	0	75.00
	小計		237	224	-13	1	75.39
11	江差	5	21	18	-3	0	81.00
	函館五稜郭	4	64	68	4	0	95.36
	函館東	5	60	50	-10	5	78.91
	函館北	5	43	37	-6	0	83.33
	上磯	4	33	29	-4	3	73.10
	松前	4	9	9	0	1	55.56
	小計		230	211	-19	9	77.88
12	白老	5	32	28	-4	1	80.50
	苫小牧	4	61	56	-5	0	74.11
	苫小牧東	4	33	32	-1	3	86.50
	苫小牧北	5	49	41	-8	2	89.74
		小計		175	157	-18	6
	合計		3,304	3,172	-132	95	85.84